

令和6年度事業報告

1. 組織の現況等

(1) 役員数

理事	18名
理事長	1名
副理事長	2名
専務理事	1名
常務理事	5名
理事	9名
監事	2名

(2) 会員数（令和7年3月31日末現在）

正会員数	83機関	（前年度比 1機関減）
検査施設数	104施設	（前年度比 1機関減）
	内訳 退会正会員	1機関
		・株式会社 再春館安心安全研究所（施設数1）
賛助会員数	21機関	（前年度比 1機関増）
	内訳 加入賛助会員	1機関
		・株式会社ファスマック

(3) 理事会及び総会

① 令和6年度決算理事会（Web参加を含む。）

開催日：令和6年6月3日

開催場所：食品衛生センター 6階会議室（東京都台東区寿4丁目15-7）

主な議題：令和5年度事業報告及び決算報告

② 令和6年度通常総会

開催日：令和6年6月27日

開催場所：食品衛生センター 6階講堂（東京都台東区寿4丁目15-7）

主な議題：令和5年度事業報告及び決算報告、令和6年度事業計画（案）及び
収支予算（案）、理事の一部補選（案）

③ 令和6年度臨時理事会

開催日：令和6年6月27日

開催場所：食品衛生センター 6階講堂（東京都台東区寿4丁目15-7）

主な議題：理事長及び役付理事の選定（案）

④ 令和6年度予算理事会

開催日：令和7年3月25日

開催場所：食品衛生センター 6階会講堂（東京都台東区寿4丁目15-7）

主な議題：令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）

2. 食品の衛生検査に関わる調査及び研究に関する事業

(1) 関連行政機関からの情報提供・連絡及びアンケート調査依頼事項への対応

①通知、事務連絡等の提供：107件

②検査受託対応状況等の調査実施件数：25件

(2) 食品等事業者、輸入業者、関連団体等からの問い合わせ事項への対応

(3) 外部機関から入手した学会、講演会の開催、関連調査事業等に関する情報提供

3. 検査従事者の技術力の向上に係る研修又は講習に関する事業

(1) 令和6年度の技術研修会等開催

令和6年5月開催の技術検討部会で協議された研修課題案に基づき、会員における検査技術の平準化、向上を目的として、検査従事者を対象にした以下の技術研修会を開催した。コロナ禍明けということもあり、開催形式は、講師との直接の質問や研修生相互の交流を深めるため、対面方式を選択した。

① 栄養成分研修会（令和6年12月9日）、参加者数：28名

② 残留農薬等研修会（令和7年1月31日）、参加者数：24名

③ 汚染物質研修会（令和7年2月20日）、参加者数：22名

(2) 技術検討部会等

技術検討部会は、令和6年度の研修会開催における基本的な研修計画事項を検討するため令和6年5月に開催した。また、令和7年度の研修会開催における基本的な研修計画事項については令和7年3月に検討を行った。

具体的な研修会の開催計画については5月中旬頃に技術検討部会を開催して、詳細を明瞭にしていくこととした。

(3) 広報部会

広報部会は部会としては開催しなかったが、ホームページのリニューアル内容について、各委員に意見を求め、意見に従って修正を行った。

輸出入食品検査部会については、令和6年度は開催しなかった。

4. 食品衛生思想の普及啓発に関する事業

会員に対する食品衛生管理にかかわる普及啓発事業として、以下に示すような関連団体主催の展示会、講演会、研修会等に協賛した。

- (1) 「フードセーフティジャパン 2024」 (令和6年10月9日～10月11日)
: 一般財団法人食品産業センター及び公益社団法人日本食品衛生協会主催
- (2) 「AOAC 日本セミナー 測定不確かさの基礎」 (令和6年11月14日)
「AOAC 日本セミナー 食物アレルギー検査の最新動向」 (令和6年11月22日)
: 一般社団法人 AOAC 日本主催

5. 登録検査機関における検査業務の管理に関する事業

以下のとおり精度管理研修会及び業務管理研修会を開催した。会員検査機関で確認された業務管理及び精度管理に関わる課題の他、精度管理研修会では「コーデックス分析・サンプリング法部会 (CCMAS) における考え方の基本と最新動向について (2024)」と「試験分析ラボにおける DX ーラボインフォマティクスによる試験検査業務の効率化ー」の2題を、業務管理研修会では「内部監査を有効にするためのコミュニケーションについて」と「令和6年度外部精度管理調査結果の報告について」の2題を取り上げた。

- (1) 精度管理研修会 (令和6年11月27日)
対象者: 食品衛生登録検査機関協会会員及び賛助会員
半日 集合形式の講演
参加者数: 59名
- (2) 業務管理研修会 広島開催 (令和7年2月14日)
対象者: 登録検査機関施設の業務管理責任者及び信頼性確保部門責任者等
半日 集合形式の講演
参加者数: 29名
- (3) 業務管理研修会 東京開催 (令和7年2月25日)
対象者: 登録検査機関施設の業務管理責任者及び信頼性確保部門責任者等
半日 集合形式の講演
参加者数: 67名

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業及び活動

- (1) 検査事業者賠償責任保険事業の推進
 - 1) 令和5年度 31 機関 (前年度比 0)

事故件数	1 件	1,106,973 円 (支払額)
2) 令和 6 年度	30 機関 (前年度比 1 減)	
事故件数	1 件	75,825 円 (支払額)

(2) ホームページの活用

当協会のホームページをリニューアルし、主な協会事業である研修会の内容を確認しやすくし、他にも保険制度や補助金制度を分けて掲載する等、事業毎のサイトを設けた。さらに、協会の事業、概要及び会員等が判明になるように整理した。その他、協会組織、会員、賛助会員の退会及び変更、理事会・総会の開催及び研修会の開催、補助金事業の公募等について、適宜、ホームページに掲載した。

(3) 会員名簿の作成・配布

令和 6 年度版の会員名簿を作成し 9 月に会員に配布した。また、専門部会：作業部会の委員名簿を作成し、各委員に配布した。

(4) 農林水産省補助事業の受託

当協会が事業実施主体として令和 6 年度自治体や民間検査機関による証明書発給等の体制強化支援事業（本予算）および令和 6 年度自治体等による証明書発給等の体制強化支援事業（補正予算）を以下のとおり実施した。

① 事業実施計画の公募、審査会の開催

補助金の交付等を適正に実施するため、手続等について実施規程を定め、自治体、民間検査機関等に対する公募内容をホームページ、メール等により周知した。

公募において、事業実施者より事業実施計画の承認申請を受付し、審査会を 4 回開催した。審査の結果、輸出証明書の発行、施設の認定、検査等を実施する機関、計 19 団体について、体制強化及び能力向上、検査機器導入等の事業を採択した。

② 採択した 19 団体の事業について、補助金の交付決定、事業実施者の実績報告のとりまとめ、補助金の額の確定と支払いを実施し、農林水産省へ補助金実績を報告した。